



## 2年連続で全日本包装技術研究大会「優秀発表」に選出

 三菱ガス化学株式会社

2014年12月15日

三菱ガス化学株式会社（本社：東京都千代田区、社長：倉井敏磨）は、第51回・第52回全日本包装技術研究大会における以下の発表について、2年連続で「優秀発表」に選出されました。

### 第51回：新規酸素捕捉樹脂の特徴と用途（発表者：岩本慎平）

近年、透明性・軽量性・経済性などの理由から、保存性を高めるための酸素捕捉機能を持つ包装材料が求められています。従来の酸素捕捉樹脂は、強度や臭い、内容物への溶出が課題となっていました。当社はこれらの問題を解消した酸素吸収樹脂の開発に成功しました。この樹脂は、食品包装用途のほか、医薬品用途への応用が期待されています。

### 第52回：乾燥条件下に適用可能な脱酸素包装材料の開発（発表者：増田章宏）

従来の鉄系脱酸素樹脂は酸素吸収に水分が必要であり、固形製剤や乾燥食品には適さない場合があります。このたび当社が開発した新規の鉄系酸素吸収樹脂は、絶乾状態でも酸素と反応することができる特殊鉄粉を使用しているため、乾燥条件下でも無酸素状態での長期保存が可能となります。



左：新規酸素捕捉樹脂を中間層に使用した医薬品保管用の多層容器



右：乾燥条件下でも無酸素状態を作り出す医薬固形製剤用ボトル

全日本包装技術研究大会は、「公益社団法人 日本包装技術協会」が経済産業省・国土交通省・防衛省などの後援を受け開催する研究発表会です。包装技術の研鑽と交流を目的とし、1963年より毎年開催されています。優秀発表論文は、同協会機関誌「包装技術」に掲載されます。

〈本件に関するお問い合わせ先〉

広報IR部 TEL：03-3283-5041